

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【公表番号】特表2010-517841(P2010-517841A)

【公表日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2010-021

【出願番号】特願2009-547577(P2009-547577)

【国際特許分類】

B 6 0 N 2/42 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/42

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月19日(2011.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 ベアリングピン (1 3) を中心に回動自在かつ第 1 部材 (5) に対して移動自在に装着される第 1 ロック部材 (1 1) と、該第 1 ロック部材 (1 1) と車両座席用ロック装置 (1) のロック状態で相互作用する第 2 ロック部分 (1 2) を設けて前記第 1 ロック部材 (1 1) に対して移動自在な第 2 部材 (8) と、前記第 1 ロック部材 (1 1) に対して移動自在な状態で中心 (Z) を有する第 2 ベアリングピン (1 9) の周りに回動自在に設けられて前記車両座席用ロック装置 (1) のロック状態を維持する安全部材 (1 5 、 1 7) と、該安全部材 (1 5 、 1 7) に 1 つのポイント (P) において力 (K) で作用して前記安全部材を第 1 ロック部材 (1 1) またはストッパ (2 3) に向けて付勢するバネ (2 5) とを備え、前記第 1 部材 (5) と第 2 部材 (8) を解除自在にロックする車両座席用ロック装置 (1) において、

前記バネ (2 5) による力 (K) の作用ラインが、前記バネ (2 5) による作用を受ける安全部材 (1 5 、 1 7) を開放する際に前記安全部材 (1 5 、 1 7) の角度位置に応じて中心 (Z) に近づくように設計されていることを特徴とする車両座席用ロック装置 (1) 。

【請求項 2】

前記バネ (2 5) による力 (K) の作用ラインが、前記バネ (2 5) により作用を受ける安全部材 (1 5 、 1 7) の少なくとも 1 つの角度位置で前記中心 (Z) を通るように設計されていることを特徴とする請求項 1 記載の車両座席用ロック装置 (1) 。

【請求項 3】

前記安全部材 (1 5 、 1 7) のうちの第 1 安全部材 (1 5) が、前記第 1 ロック部材 (1 1) に対して作用して通常時に車両座席用ロック装置 (1) をロック状態に維持するように設計されていることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の車両座席用ロック装置 (1) 。

【請求項 4】

前記第 1 安全部材 (1 5) が、前記通常時に第 1 ロック部材 (1 1) に作用して隙間なく第 1 ロック部材を第 2 ロック部分 (1 2) に対して押し付ける押し付け部材として設計されていることを特徴とする請求項 3 記載の車両座席用ロック装置 (1) 。

【請求項 5】

前記第 1 安全部材 (1 5) に予張力を付与する引張バネ (2 1) が設けられていることを特徴とする請求項 4 記載の車両座席用ロック装置 (1)。

【請求項 6】

前記安全部材 (1 5 、 1 7) の第 2 安全部材 (1 7) が、前記第 1 ロック部材 (1 1) に対して移動自在に設けられて前記第 1 ロック部材 (1 1) を少なくとも衝突発生時に支持するように設計されていることを特徴とする請求項 3 乃至請求項 5 のいずれかに記載の車両座席用ロック装置 (1)。

【請求項 7】

前記第 2 安全部材 (1 7) が、前記通常時に第 1 ロック部材 (1 1) から僅かに離間した位置に配置されて前記衝突発生時にロック解除方向に回動する第 1 ロック部材 (1 1) を支持するキャッチ部材として設計されていることを特徴とする請求項 6 記載の車両座席用ロック装置 (1)。

【請求項 8】

前記バネ (2 5) が、平坦な螺旋バネとして設計されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 7 のいずれかに記載の車両座席用ロック装置 (1)。

【請求項 9】

前記バネ (2 5) による作用を受ける安全部材 (1 5 、 1 7) が、前記バネ (2 5) に形成されたバネアーム部分 (2 5 a) にポイント (P) で当接する制御用輪郭部分 (1 7 a) を有していることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 8 のいずれかに記載の車両座席用ロック装置 (1)。

【請求項 10】

前記バネ (2 5) に形成されたバネアーム部分 (2 5 a) が、前記バネ (2 5) による作用を受ける安全部材 (1 5 、 1 7) の回動時に制御用輪郭部分 (1 7 a) に沿ってスライドするように設計されていることを特徴とする請求項 9 記載の車両座席用ロック装置 (1)。

【請求項 11】

前記制御用輪郭部分 (1 7 a) が、前記中心 (Z) を中心として湾曲する部分領域を有していることを特徴とする請求項 9 または請求項 10 記載の車両座席用ロック装置 (1)。

【請求項 12】

前記バネ (2 5) に形成されたバネアーム部分 (2 5 a) が、前記中心 (Z) を中心として湾曲する制御用輪郭部分 (1 7 a) の部分領域にポイント (P) で当接した際に、前記中心 (Z) を通る力 (K) で安全部材 (1 5 、 1 7) に作用するように設計されていることを特徴とする請求項 11 記載の車両座席用ロック装置 (1)。

【請求項 13】

前記バネ (2 5) による作用を受ける安全部材 (1 5 、 1 7) の角度位置が、前記ロック装置 (1) のロック解除時に中心 (Z) を通る力 (K) により実現するように設計されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 12 のいずれかに記載の車両座席用ロック装置 (1)。

【請求項 14】

前記第 1 ロック部材 (1 1) および第 2 ロック部分 (1 2) が、前記ロック装置 (1) のロック解除時に第 1 ロック部材 (1 1) から離間する方向に向けた安全部材 (1 5 、 1 7) の回動後に相互作用を生じない程度まで相互に離間するように設計されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 13 のいずれかに記載の車両座席用ロック装置 (1)。

【請求項 15】

前記安全部材 (1 5 、 1 7) が、前記ロック装置 (1) のロック解除状態でロック解除方向に移動した状態に保持されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 14 のいずれかに記載の車両座席用ロック装置 (1)。

【請求項 16】

請求項 1 乃至請求項 15 のいずれかに記載の車両座席用ロック装置 (1) を備えている

ことを特徴とする車両座席（３）。